

## カワラバト（ドバト）

ハト科



街中いたるところにいるハトです。首のあたりには、緑やむらさき色のつやがあります。羽のもようにはそれぞれ個性があり、ちがいを観察してみるのもおもしろいです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年9月4日

## キジバト

ハト科



ホーホーホッホーというリズムカルな鳴き声を聞いたことはないですか？その正体はこのハトです。うろこのようなもよもの羽と、首もとのしまもようがとくちょうです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年9月29日

## 🌸 渡り区分について

「渡り鳥」という言葉があるように、鳥には季節にあわせて海外から日本にやってくる種類があります。一方で、一年中日本にすんでいる種類もあります。どの季節に観察できるかは、5つに区分されます。

- 夏鳥（なつどり）：春～夏に、南方から繁殖のために日本に渡ってくる鳥
- 冬鳥（ふゆどり）：秋～冬に、北方から越冬のために日本に渡ってくる鳥
- 留鳥（りゅうちょう）：一年中見られる鳥
- 漂鳥（ひょうちょう）：日本国内を季節にあわせて移動している鳥
- 旅鳥（りょちょう）：春・秋に、渡りの途中で日本に立ちよる鳥

## スズメ

スズメ科



「枕草子」に登場したり、江戸時代の俳句によまれたりなど、古くからなじみの深い鳥です。寒くなると見られる、羽をふくらませてまんまるになったすがた（ふくらすずめ）がかわいらしいです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2023年4月24日

## ハシブトガラス

カラス科



くちばしが太くて長く、ひたいが盛り上がります。「カー、カー」とすんだ声で鳴きます。市街地や森林など入りくんだ場所を好みます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年9月15日

## ハシボソガラス

カラス科



くちばしが細くて短く、からだはハシブトガラスより少し小さめです。「ガー、ガー」とにごった声で鳴きます。農耕地や河川敷など開けた場所を好みます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年10月4日

## ムクドリ

ムクドリ科



くちばしと足が黄色で、目やおおのあたりが白っぽいのがとくちょうです。秋～冬頃には群れを作り、電線などに大群でとまっているすがたがよく見られます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年2月10日

## ヒヨドリ

ヒヨドリ科



灰色のからだに赤いほおがとくちょうです。果実や花のみつが好物です。日本では普通に見られる種類ですが、海外では数が少なくめずらしい鳥とされているようです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年1月20日

## ハクセキレイ

セキレイ科



背中は灰色～黒っぽく、目の横に黒いすじが入ります。歩くスピードがとても速いです。立ち止まっては尾羽を上下に振るすがたもよく見られます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年12月29日

## メジロ

メジロ科



ウメの花に緑色の鳥…ウグイスかな?とってしまいそうですが、メジロという鳥です。目のまわりが白いため、この名前がつきました。ウメやサクラ、ツバキなどの花のみつをよく食べにきます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年2月10日

## シジュウカラ

シジュウカラ科



背中が緑色、羽に白い線、胸に黒いネクタイのようなもよう（この写真では分かりませんが…）があるのがとくちょうです。「ツピーツピー」とよく通る高い声で鳴くので、その鳴き声をたよりに探してみましよう。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年2月8日

## ヤマガラ

シジュウカラ科



白黒の顔と茶色いお腹がとくちょうです。とても器用な鳥で、木の実を足ではさみ、くちばしで割って食べます（写真右）。その器用さから、かつてはおみくじを引く芸をする鳥として親しまれていました。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年2月8日

## イソヒヨドリ

ヒタキ科



青色と赤茶色の美しい鳥です。本来は名前のおり磯（海岸部）に住んでいる鳥ですが、近年は内陸部でも見られるようになり、街中でも美しいさえずりを聞かせてくれます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年9月15日

## ツグミ

ヒタキ科



白いまゆげのようなもようど、お腹のまだらもようがとくちょうです。木の実や、枯葉の下の昆虫などを探して食べます。胸をはって立つすがたがよく見られます。

渡り区分：冬鳥

さつえい日：2021年1月20日

## ヒバリ

ヒバリ科



春になると、空高くを飛びながらさえずることから、春のおとずれをつける鳥として知られています。頭に小さなかんむりのような羽がはえているのがとくちょうで、河川敷などの草地でよく見られます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2023年4月24日

## モズ

モズ科



小枝などのとがったものに、昆虫などのえものをくしざしにする習性があり、「モズのはやにえ」と言われています。大阪府のキャラクター「もずやん」は、この鳥がモチーフです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2022年10月1日

## カワラヒワ

アトリ科



黄色いもようの入った羽がとくちょうです。飛ぶときにそれがよく見えるので、注目してみましょう。他の小鳥とくらべて太いくちばしは、植物の種子を食べるのに適しています。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年7月29日

## アオジ

ホオジロ科



大きさや背中の色合いはスズメによく似ていますが、お腹と頭が黄色っぽいのがとくちょうです。夏は本州中部より北の山地や北海道にいますが、冬は平地にやってくるため、大阪でも見ることができます。

渡り区分：漂鳥

さつえい日：2021年1月26日

## マガモ

カモ科



カモといえば、このカモを思いうかべる人も多いのではないのでしょうか。頭が緑色なのはオスだけで、カールした尾羽もとくちょう的です。

渡り区分：冬鳥

さつえい日：2020年12月29日

## カルガモ

カモ科



冬にだけ見られるカモが多い中、このカモは一年中見ることができます。オスとメスで、からだの色のちがいはありません。くちばしの先だけ黄色いのがとくちょうです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年9月16日

## ヒドリガモ

カモ科



群れを作って水辺に浮かんでいるところがよく見られます。頭が茶色でからだは灰色の方がオス、全体的に茶色の方がメスです。オスは「ピューピュー」と高い声で鳴きます。

渡り区分：冬鳥

さつえい日：2020年12月29日

## オオバン

クイナ科



黒いからだに白いくちばしとひたい（額板：がくぼん）がとくちょうです。カモのなかまに見えますがクイナのなかまで、足に水かきがなく、かわりにそれぞれの指にひれのようなものが付いています（弁足：べんそく）。

渡り区分：冬鳥・留鳥

さつえい日：2020年12月29日

## アオサギ

サギ科



灰色の大きいサギで、水辺にじっとたたずんでいるすがたがよく見られます。古代エジプト神話では、神聖な鳥としてあがめられていたそうです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年1月5日

## ダイサギ

サギ科



大・中・小といるシラサギの中で、一番大きい種類です。アオサギと同じくらいの大きさです。くちばしは黄色ですが、春～夏ごろの繁殖期（はんしょくき）には黒く色が変化します。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年9月16日



## コサギ

サギ科



大・中・小というシラサギの中で、一番小さい種類です。くちばしは黒く、あしゆびは黄色です。春～夏ごろの繁殖期(はんしょくき)になると、頭の後ろに 2 本の長いかざり羽がはえます。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年9月15日

## カワウ

ウ科



水にもぐり魚をつかまえて食べます。もぐった後は、羽を広げてかわかしているすがたがよく見られます。ちなみに、鵜飼(うかい)で飼われているうは、カワウでなくウミウだそうです。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2020年12月29日

## ケリ

チドリ科



水田などの水辺にいる、足の長い鳥です。羽の先が黒く、広げたときにそれがよく見えます。鳴き声が「ケリッ、ケリッ」ときこえるため、この名前がつけました。

渡り区分：留鳥

さつえい日：2021年6月3日

